

## 第2回 岐阜県新型コロナウイルス感染症 教育推進協議会 議事概要

日 時	令和2年5月8日（金） 17:00～18:30
場 所	県庁4階 特別会議室
出席者	<p>&lt;委員&gt; 15名          松川 禮子 委員、益子 典文 委員、小川 信也 委員、安福 正寿 委員          早川 三根夫 委員、名取 康夫 委員、折戸 敏仁 委員、七野 武稔 委員          河井 洋子 委員、下屋 浩実 委員、河合 直樹 委員、浅野 健司 委員、          岡崎 和夫 委員、村上 啓雄 委員、竹内 治彦 委員          （浅野委員はWeb会議システムで参加）</p> <p>&lt;県&gt;          知事、河合副知事、平木副知事、教育長（委員）、副教育長、環境生活部長、          教育次長、義務教育総括監、教育総務課長、私学振興・青少年課長 他</p>
議 題	<p>議題1 関係者ヒアリングの結果について          議題2 学校再開後の実施体制と学校休業のさらなる長期化への対応について          議題3 9月入学制について</p>
配布資料	<p>資料1 関係者ヒアリングの結果について          資料2 6月1日の学校再開に向けた対応（案）について          資料3 9月入学制について</p> <p>参考資料 1 関係者ヒアリングの結果          参考資料 2 学校休業のさらなる長期化への対応          参考資料 3 新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業に係る          学校運営上の工夫について（令和2年5月1日付け2文科初第222号）</p>

### 議事概要

それぞれの議題について事務局から資料に基づき説明。主な意見は次のとおり。

#### <関係者ヒアリングの結果について>

- ・ アンケートの聞き取り先については、小中高とも県内の各エリアから学校規模に応じて、進路希望や学科などに偏りのないよう無作為抽出で調査している。

#### <学校再開後の実施体制と学校休業のさらなる長期化への対応について>

- ・ 大半の市町村が6月再開に向け準備している。再開に向けたロードマップなどある程度統一的な取扱いが必要だが、地域や学校の実情に応じて市町村教育委員会で判断できるようにしてもらいたい。
- ・ 分散登校について、毎日午前午後を入れ替えるのは生徒にストレスが大きい。週ごとに変えた方がよいのではないか。
- ・ 再開にあたって、学校内感染が心配。専門家の意見を聴き、換気や手洗いの基準など感染予防マニュアルを出してほしい。

- ・再開後に学校で感染者が出た場合、どう対応するかという危機管理の検討も必要である。
- ・全員がマスクをしていれば学校で発症者が出ても濃厚接触者とはなりにくいが、給食中は注意が必要。感染防止策を徹底すれば再開してもよいのではないか。

#### < 9月入学制について >

- ・国際的に見るとその価値というのは極めて有用かと思うが、それが今の時期なのかというのは疑問がある。
- ・冬にも次の第2波、第3波がくることを想定した方がよい。早めに学校を再開して、学習を進めた方がよい。
- ・受け入れる子どもの年齢が下がれば下がるほど学校規模が小さくなるため、半年間学費等の納入がないことによる影響は大きくなる。
- ・半年間の社会のひずみを、この世代だけに押しつけてよいものなのか。